

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p><b>1 持続可能な地域公共交通のために (20分)</b></p> <p>事業用自動車運転士の労働時間規制がバスやタクシーの運転手に2024年4月から適用される事により、従来の運行ダイヤが維持できない事が懸念されている所謂「2024年問題」。もともと有効求人倍率はバスが約2倍、タクシーが約4倍と全業種平均の約1.2倍を上回る運転手不足の現状に追い打ちをかける形となる事が懸念されています。</p> <p>これまで本市では、市内公共交通であるつるバス・つるワゴンの運営を路線の効率化などの努力もあり、利用者は増加し、最近ではバスロケーションシステムの導入などサービス水準を低下させることなく取り組んできました。</p> <p>しかし、東武バスウエスト株式会社の運転士不足を理由につるバスの運行撤退の意向が伝えられ、本市もまさにその渦中にあるのだと思われ知らされています。</p> <p>引継ぎ事業者としてイーグルバス株式会社が現行の運行形態で可能という事で選定をされています。実際の手続きは、地域公共交通活性化協議会で諮られ、運輸局への申請、イーグルバスとの契約締結と進んで行くと議会にも説明がなされましたが、改めて持続可能な地域公共交通について伺います。</p> <p>(1) つるバス・つるワゴンの運行事業者の運転士不足の状況と2024年問題の影響について</p> <p>(2) 他自治体のコミュニティバス等の運営の状況について</p> <p>(3) 本市のこれまでの取組について</p> <p>(4) 今後の便数の確保や経費の見通しについて</p> <p>(5) 特につるワゴンの今後の見通しについて</p> <p>(6) 自治体の取組として「二種免許取得助成制度」があります。本市としての取組について</p>	<p>市長</p>
<p><b>2 医療用ウィッグ等の購入費助成について (20分)</b></p> <p>アピアランスケアとは、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのことで、国の第4期がん対策推進基本計画の中にもがんとの共生が目標の中に含まれており、治療をしながら社会生活を送るがん患者が増加する中、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要であることを踏まえ、目標項目として記載されています。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>医療用ウィッグ、乳房補正具などによるアピアランスケアについては、がん患者が適切な医療を受けながら罹患する前と変わらず自分らしく生活するためには治療による外見の変化を補い、また、治療をしながら就労するなど、社会生活を送るための支援として重要な役割であると認識します。一部の自治体では、医療用ウィッグ、乳房補正具等の購入費助成を実施しています。以下、質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アピアランスケアへの市の取組について</li> <li>(2) 県の取組と県内での助成の状況について</li> <li>(3) 特にAYA世代のがん患者の方が闘病しながら自分らしく前向きに社会生活を送っていくために必要不可欠な支援は、</li> <li>(4) 令和5年度アピアランス支援モデル事業で埼玉医大が採択されていますが、本市との関係について</li> <li>(5) 本市での医療用ウィッグ、乳房補正具等への助成について</li> </ol> <p><b>3 インクルーシブ遊具を取り入れた公園整備について</b> <b>(20分)</b></p> <p>インクルーシブとは、障害のある人もない人も、分けずに包み込もうという概念です。インクルーシブ公園というものが、2020年に東京都世田谷区の都立砧（きぬた）公園の中に誕生しております。先日私も現地伺い見えました。「0さいから300さいまでだれでもどうぞ」と掲げられた公園は、誰ひとり取り残さないとの気概を感じました。</p> <p>体を支える力が弱い子が揺れる感覚を楽しめる大型ブランコや、車椅子に乗ったまま遊具の中を通ることができる複合遊具などの整備がされています。</p> <p>障害のある子もない子も、みんなが遊べる公園が鶴ヶ島にも必要ではないでしょうか。</p> <p>本市では、2つの区画整理が終わりを迎え、新たな公園が生まれます。</p> <p>また、遊具に関しても計画的に更新を図っております。直近に整備されたハンカチの木公園整備の際には、地元住民とのワークショップが行われたと伺っていますが、結果、遊具少ない、その為に地域のお祭りなどのイベントができる公園となっております。ワークショップの際にもインクルーシブ遊具を導入しようという意見はでなかったのでしょうか。</p> <p>市は、段差をなくしたり、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが使いやすい公園づくりを進めていると思います。一歩進んだインクルーシブの考え方を取り入れていくことは、今後の公園に必要な視点ではないでしょうか。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>か。以下、質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市の公園整備の方針について</li> <li>(2) インクルーシブ遊具、インクルーシブ公園への市の認識は。</li> <li>(3) インクルーシブ遊具を取り入れた公園整備への課題は。</li> <li>(4) 埼玉県では、「障害のある子もない子も遊ぶことができ、誰もが同じ場所で楽しむことができる」というインクルーシブ公園の考え方は、SDGsの理念にも通じる視点であることから、多くの県民が利用する県営公園や秩父ミュージアムパークでも導入しています。県内市町村の取組状況について</li> <li>(5) 本市でも取組を。</li> </ul>	